

(様式1)

2026年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 013	提案機関名 横浜農業協同組合
要望問題名	ウドに対するクロルピクリン錠剤の農薬登録の拡大について
要望問題の内容【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】	横浜市の瀬谷地域のウドは、半世紀にわたり生産されてきた名産品として知られています。近年、育苗圃場において萎凋病の発生が問題となっており、防除のためにはクロルピクリン等による土壌消毒が必要となつていいます。しかし、現在登録のある薬剤はいずれも揮発性の液剤であり、生産者の薬剤処理作業等の観点から、錠剤タイプの登録拡大に向けた取り組みをお願いします。
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	作付け面積約1ha

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) II-3(2)ア 病害虫診断同定及び防除技術の開発		
対応の内容等	令和6度からウド生産圃場の現地調査に同行し、サンプル採集を実施している中で、原因は萎凋病だけではなく、複合的な要因が考えられることから、クロルピクリン錠剤をするために必要な対象病害が定まっていないう状況です。このため、本件では、原因特定のための現地調査の継続が必要と考えます。今後も引き続き現地調査の際はサンプル採集、病原菌の同定等を行い、原因がはっきりした段階で、登録拡大について検討します。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			